

【オリエンタルコンが新会社設立 車両の安全運転を支援】

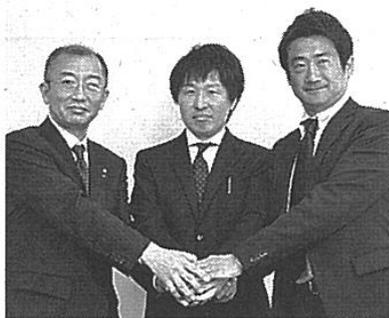
オリエンタルコンが新会社設立

車両の安全運転を支援

オリエンタルコンサルタンツ(渋谷区)は、100%出資の新会社「トータルフリートサービス」を設立した。車両の安全運転支援サービスをメインに、交通事故などのリスク削減を目指す。

新会社の事業目的は、車両運行管理や安全運転に関するトータルマネジメントの推進。ドライブレコーダーのデータを基に、個々のドライバーに運転指導するコンサルティングサービス「車録(シャロック)」、民間企業向けの「車両管理BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)サービス」、車録で収集したデータを活用し、道路構造改良といった事故対策やその効果

をモニタリングする行政向けの「ドクターワトソン」を展開する。大西康弘氏が社長に就任し、本社は渋谷区に置く。



左からオリエンタルコンサルタンツの野崎秀則社長、トータルフリートサービスの大西康弘社長、リサーチアンドソリューションの美濃部直樹社長

「起業者精神を持つ人材の育成と、グループ会社の連携でサービスの総合化を図りたい」という思いから新会社を設立したと説明。

インフラ整備事業に携わるオリエンタルコンサルタンツ、車両管理を展開するグループ企業のリサーチアンドソリューションと協力し、事業拡大を狙う。